

神奈川県議会 一般質問

日付：平成 29 年 9 月 22 日

1. 大規模災害時の物資の輸送体制の確保について

大規模災害が発生し陸上交通が使えない事態の備え、水上交通や空路を活用などの輸送体制の充実を図る必要があると思うが、知事の見解を伺う。

2. 災害に関する人材の育成について

私は防災士という資格を持っているが、町内会長や学校の先生など、災害時に強いリーダーシップを発揮することが期待されている人たちにも是非、防災士のような防災に関する資格を取得していただきたいと考えている。そこで、大規模災害への備えとして、防災に関する知識や高い意識を身につけた防災リーダーと呼ばれるような人材育成について知事の見解を伺う。

3. 効果的な観光情報や魅力の発信・プロモーション活動について

国内外からの観光客を呼び込むためには、県の独自性を打ち出した、効果的な観光情報や魅力の発信・プロモーション活動が必要と考える。県としてどのように取り組んでいくのか知事の見解を伺う。

4. MICE の受け入れ態勢整備とその経済効果について

世界的な会議や展示会など、様々な MICE が開催されているが、本県の代表的な MICE 会場であるパシフィコ横浜は稼働率が高いこともあり、せっかく申し込みがあっても、多くを断らざるを得ず、県外に流れてしまっていると聞いている。

そこで、パシフィコ横浜で受け止めきれなかった MICE の需要を幅広く県内で受け止めていくとともに、その経済効果を県内に最大限に普及させるために、県として今後どのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

5. ラグビーワールドカップ、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会におけるファンゾーンの活用について

海外で大きなスポーツ大会が行われると、試合を観戦するパブリックビューイングはもちろん、訪れた方がそのスポーツに親しめるような体験イベントや関係者のトークショーが催されたり、出場国にちなんだ飲食ブースを一か所に集めた「ファンゾーン」というイベントが頻りに開催されている。そこで、2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年オリンピック・パラリンピックを、より多くの方に楽しんで頂くために、どのように「ファンゾーン」を活用していかうと考えているのか、スポーツ局長の見解を伺う。

6. 県立学校における VR 技術を活用した防災訓練の導入について

近年、ゲーム業界をはじめとした様々な分野で「VR」すなわち「仮想現実」を体感できるようになった。そこで、現在普及しつつある VR 技術を活用した防災訓練を、県立学校でも積極的に取り入れていくべきだと考えるが、教育局長の見解を伺う。

7. 子どもたちのコミュニケーション能力の育成について

コミュニケーション能力は一朝一夕に向上するものではないし、劇的な向上が見込まれる絶対的な手法があるとは思えないが、日々の授業をはじめとした様々な取り組みを通じて、子供たちが多くの人と関わっていく中で、地道に育成していくことが必要と考える。そこで、学校教育の中で今後もより一層子どもたちのコミュニケーション能力の育成に努めていくべきだと考えるが、教育長の見解を伺う。